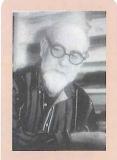


自然との調和をめざして

Harmonize with Nature and Dream







フリーデンスライヒ・ フンデルトヴァッサー

舞洲工場の外観は、ウィーンの芸術家であるフリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー氏によりデザインされたものであり、建物が地域に根ざして、技術・エコロジー・芸術の融和のシンボルとなるよう意図されています。

自然界に直線や同一物が存在しないことから、各所の形状には意識的に曲線が採用されるとともに、建物は自然との調和の象徴として多くの緑で囲まれています。

壁面の赤と黄色のストライプは工場の内部で燃焼する炎をイメージし、表現しています。

The exterior of the Maishima Plant was designed by Viennese artist Master Friedensreich Hundertwasser. His intentions were to symbolize the harmony of technology, ecology and art by creating a structure with roots in the local area.

Since straight lines and identical objects do not exist in nature, Hundertwasser incorporated curved lines into each shape and encompassed the buildings in green as a symbol of harmony with nature. The red and yellow stripes on the outside walls represent the combustion flames and tell what is being accomplished inside the plant.

1928年ウイーン生まれの画家で、自然保護建築のデザインでも有名です。

この舞洲工場も彼のデザインで、「技術、エコロジーと芸術の調和」をコンセプトに、自然を大切にする考え方が取り入れられております。

自然界には定規で引いたような直線や、全く同一のものは無いとの主張から、曲線を多く使い、極力同じものが無いデザインとなっております。

また、建物を建てると自然を破壊するので、それを補うために工場の周辺並びに建物 緑化を積極的に行っています。

氏は世界各国を回り、世界循環展を催したり、浮世絵など日本の文化への関心も高く、名前を和訳した「百水」の雅号を持っていましたが、残念ながら、舞洲工場の完成を見ずに、2000年に71歳で永眠されました。

Master Friedensreich Hundertwasser (1928~2000)

The exterior of the Maishima Plant was designed by Viennese artist Master Friedensreich Hundertwasser. His intentions were to symbolize the harmony of technology, ecology and art by creating a structure with roots in the local area.

